



JIA 建築家大会 2023 東海 in 常滑オンラインイベント、シンポジウム
 【脱経済成長とコモンを捉えた建築まちづくり／地球環境と幸せを考える】

10月25日18:30～20:30 オンライン開催

建築まちづくりに関わる中で、どのような方向に進めばよいのか？の視点を建築家は常に求められる。地球環境に優しい社会、人にとって幸せとは何か？ その方向性が見えなければ、建築行為は気づかぬうちに間違いを犯している可能性もあろう。その俯瞰的視点を持つためには、建築を単体として捉えるのではなく、まちづくりを含めた幅広い捉え方が必要であり、そこには公共の福祉という公益的視点で建築家職能を再考することが求められよう。この視点を深掘すべく、影響的な3冊の本「土地は誰のものか」「里山資本主義」「人新世の資本論」を取り上げ、著者、五十嵐敬喜氏と藻谷浩介氏を招いて、シンポジウムを行う。住民と行政と専門家を繋ぐファシリテーションやデザインレビューなどの仕組みなど、建築やまちづくりの質やクライテリアの手掛かりに繋げる中で、結果として「環」になっているかも…



配付資料：JIA 関東甲信越支部ブルチン、良質な建築・これからのまちづくり：2023年春号「人新世の資本論にみる今後のまちづくりの視点／小川真樹」、2023年夏号「里山資本主義を生かした建築まちづくりはできるか／飯沼竹一」、2023年秋号、原稿「土地は誰のものか、現代創有の取り組み／成岡茂」

■パネリスト

・五十嵐敬喜 (いがらし たかよし)

1994年生まれ、法政大学名誉教授、弁護士、元内閣官房参与
 「美しい年をつくる権利」「美しい都市と祈り」「現代総有論」「都市再生を問う」
 「建築紛争」「道路をどうするか」「国土強靱化批判」「震災復興 10年の総点検」他、著書多数

・藻谷浩介 (もたに こうすけ)

1964年生まれ、日本総合研究所調査部主席研究員、日本政策投資銀行特任顧問、平成合併前の全3200市町村、海外119ヶ国を自費で訪問し、地域特性を多方面に把握。地域振興、人口成熟問題、観光復興、コロナ対応等に関し、研究・著作・講演を行う。2021年より現職、著書に「デフレの招待」「世界まちかど地政学 Next」「日本の進むべき道～成長とは何だったのか」等。



五十嵐敬喜



藻谷浩介

○モデレーター：連健夫 (JIA まちづくり会議)

■日時：10月25日、(時間：18:30～20:30) ※CPDプログラム

■オンラインで実施(ZOOM、ウェビナー方式) ※進行(松村)

<https://us06web.zoom.us/j/83826542874>

■プログラム

- ・開会挨拶(小田義彦、JIA 建築家大会委員長)(松島逸 JIA まちづくり会議議長)
- ・趣旨説明(連健夫、JIA まちづくり会議)
- ・五十嵐敬喜氏、講演
- ・藻谷浩介氏、講演
- ・読後感「人新世の資本論からみる今後のまちづくりの視点」(小川真樹、建築まちづくり委員)
- ・ディスカッション※ブルチンの読後感記事の印象からスタート／質疑応答
- ・閉会挨拶(松村哲志、建築まちづくり委員長)

■主催：JIA まちづくり会議＋関東甲信越支部建築まちづくり委員会

